



1. 教育

教養教育体制の見直し

1. 教育基盤センターの設置準備 大学教育センターを教育基盤センターに改組
教育企画室の設置を決定
2. カリキュラムマップの作成 教養教育～専門教育～卒業教育までの一貫教育を展開
3. 英語教育の改善・充実 基礎的「英語」科目を1年次に集中化

教育学研究科教職リーダー専攻の認証評価 評価基準に適合していると認定

保健学研究科の設置準備 医学系研究科から分離・独立した研究科の設置を決定

学生支援の充実

1. 障害学生支援室の設置 4名の職員を配置した支援室を設置し、サポート体制を強化
2. 就業力育成支援室の設置 社会的・実践的能力の養成など、学生支援を推進
3. キャンパスソーシャルケースワーカーの配置 桐生、太田キャンパスに配置し、修学支援を充実

2. 研究

プロジェクト型研究の推進

プロジェクト研究領域として新たに10領域を設定し、プロジェクト型研究を含め重点的に推進

重粒子線臨床研究の推進 がん患者の治療を通じた臨床研究を開始、約90名の治療実績（22年度）

グローバルCOEプログラム

秋田大学との連携による生活習慣病などの原因を探る研究を実施
3名の教員の研究課題が最先端・次世代研究開発支援プログラムに採択

低炭素テクノロジー

文部科学省の低炭素社会の構築に向けた研究拠点事業として採択され、アドバンストカーボンに関する研究を推進

3. 社会貢献、国際交流等

大学の地域貢献度ランキングトップ（日本経済新聞社） 日経グローバルNo.160で総合1位

こども体験教室群馬ちびっこ大学の開催 群馬県など50団体との連携により4日間開催、
参加者7,790名

地域と連携した多文化共生教育への取組
「文部科学省科学技術振興調整費」の事業として群馬県と連携し多文化共生推進士養成を実施

デジタルを活かすアナログナレッジ養成の取組

「文部科学省科学技術振興調整費」の事業として最先端エレクトロニクスに係る研究人材の養成を実施

防災教育の充実

工学研究科広域首都圏防災研究センター長の片田教授により防災教育の実施、地域における防災対策のセミナーやシンポジウムを開催

国際交流協定大学とダブルディグリー制を開始 （ハノイ工科大学、パジャジャラン大学）

東日本大震災への対応 被災地への支援活動を実施、計画停電などへの対応

附属病院

重粒子線治療

22年6月に先進医療として認可、がん患者の治療を開始、約90名の治療実績（22年度）
がんプロフェッショナルの養成拠点として、専門医等医療人材の養成を実施

医療人能力開発センターの充実

女性医師等教育・支援部門、地域医療推進研究部門を設置
女性医師等の復職支援、医師不足の解消など地域医療に貢献

附属学校

子ども総合サポートセンターの設置等

附属学校と教育学部との共同による子ども総合サポートセンターを設置するとともに、
群馬県教育委員会との連携により附属学校のあり方について公開シンポジウムを開催

生体調節研究所

共同利用・共同研究拠点の認定

メタボリック症候群克服のため、「代謝疾患ゲノム研究プロジェクト」、「代謝シグナル機能
研究プロジェクト」の2つの共同研究プロジェクトを推進
18機関、14件の共同研究を実施

グローバルCOEプログラムと最先端・次世代研究開発支援プログラム（再掲）

秋田大学との連携による生活習慣病などの原因を探る研究を実施
3名の教員の研究課題が最先端・次世代研究開発支援プログラムに採択

学長裁量経費による戦略的施策や教育研究プロジェクト等の推進

523百万円を確保

重点課題に対する学長裁量による人員配置

教養教育体制の見直し・重点化のため1名を配置

コスト削減

1. 人件費の削減 人件費1%減を達成、23年度以降の定員削減計画を決定
2. 光熱水量の削減 使用量の明確化による効率的な使用、電力契約の見直しによる経費削減
3. 附属病院の取組 医療材料等コンサルティング業務の外部委託による経費削減（約2億円）
4. 管理的経費の削減 業務委託契約の見直しによる経費削減（約160万円）

外部研究資金等の獲得

1. 大型外部研究資金の獲得
若手先端科学研究者の研究環境改革（文部科学省科学技術振興調整費）1件、188,617千円
最先端・次世代研究開発支援プログラム（日本学術振興会先端研究助成基金助成金）
3件、490,100千円（4年間の総額）
2. 知的財産の活用
特許実施料等収入 15件、10,064千円
特許に基づく共同研究等収入 45件、148,613千円

教職員評価の実施、評価結果の反映

教員評価の実施（第2回目）、評価結果による給与・研究費等の資源配分などへ反映
職員評価の実施、評価結果による人事・給与面などへ反映

教育学研究科教職リーダー専攻の認証評価（再掲）

評価基準に適合していると認定

教育研究情報等の公開

教育、研究、社会貢献等の大学運営の状況の積極的な公開

広報戦略

ウェブサイトの改訂、群馬大学広報戦略の策定、大学広報推進室の設置を決定

施設設備の整備・活用、環境保全対策

キャンパスマスタープラン2011、群馬大学環境報告書2010を作成

安全管理

安全衛生管理推進会議を設置、健康診断・労働安全講習会を実施